

令和5年度第1回みきっ子未来応援協議会 議事録

【日時・場所】 令和5年11月2日（木） 19:00～20:45
三木市役所 5階 大会議室

【出席者】

＜委員 7名＞ 【部会長】 田中啓規
※敬称略 【副部会長】 池田博文
【委員】 坂本幸枝、岩崎めぐみ、神吉知子、
大田亜由美、大森奈津子

【健康福祉部】 井上典子（部長兼福祉事務所長）
[子育て支援課] 小田康輔（課長）
藤田恵子（係長）
藤村夏帆（主事）

1 開会

2 部会長あいさつ

3 委員、事務局自己紹介

4 議事

第三期三木市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査について

●司会（田中部会長）

最初に「第三期三木市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査」について説明をお願いいたします。

●説明（子育て支援課 藤田係長）

ご説明させていただきます。アンケート調査は「三木市子ども・子育て支援事業計画」の第三期の計画を作成するにあたり、保護者のニーズを見込み、人口の見込みを組み合わせ、令和6年度中に計画案を策定します。この計画で見込みが必要となる事業は、第二期事業計画の就学前教育・保育の見込みと、地域子ども・子育て支援事業の見込みです。

資料1につきましては就学前児童の保護者向け、資料2は小学生児童の保護者向けとなっています。就学前児童の保護者向けのアンケートにつきましては対象者全員、およそ2400

名程度、資料2の小学生児童の保護者向けのアンケートにつきましては、無作為に抽出した1000名程度が対象となります。

今後のアンケート調査スケジュールとしましては、この場でいただきましたご意見と、また庁内でも再考し、早ければ12月後半もしくは年明けに配布する予定となっております。アンケートについては説明以上です。

●補足説明（子育て支援課 小田課長）

補足で説明します。流れとしましてはアンケート調査を行い、集計・分析をかけ、一定の傾向を見ながら骨子案を作ってまいります。その後に、さらに細かく事業ベースごとの方針まで落とし込んでいった具体的な計画としていく流れで、この骨子案を策定してから実際に全体の計画が策定できるまでのところでは全体会の方が諮問機関となっております。

今回のアンケート案は、計画策定のベースになります。多少、流動的なことも踏まえながら作業していく予定です。大きく制度設計自体が変わらない中で、今ある制度に対してどう思われますか、皆様のご生活は今どうされてますか、今ある制度をベースにこんなんがあったらいいと思われるのはどこですか、また量的なところはどうかということをお聞かせください。

●司会（田中部会長）

議事1のアンケート調査について、まず資料1の就学前児童の保護者向けアンケートについてご意見、ご質問があればお聞かせいただければと思います。

●質問（神吉委員）

4ページ目の問10-1、国からの新規設問ってというのは何か要請があったのでしょうか。前はなかったということですね。

●回答（ジャパン総研）

教育希望のニーズの把握です。今回のニーズ調査前に国から指針というのが出まして、その中で特に就学前における教育希望のニーズを把握するということがあり、この10-1のような設問モデルが出てます。それを一旦今入れています。

●質問（神吉委員）

教育ニーズが増えているということですか。

●回答（ジャパン総研）

5年前はこの設問はなかったなので、その増減はわかりません。

●質問（大田委員）

幼稚園の閉園が増えているのと何か関係があるのですか。

●回答（子育て支援課 小田課長）

保育の方に全体的な流れが重視されてきている中で、従来から教育としての幼稚園というところが、どの程度ニーズがあるのかを改めて取り直しているということです。

●質問（田中部会長）

虐待関連に関する項目で14ページになります。質問の意図という意味でお聞きします。問29の「『しつけ』のためであれば、子どもへの『体罰』や『虐待』に当たる行為はすべきだと思いますか」という質問ですが、意図をお聞きしてよろしいですか。

●回答（子育て支援課 小田課長）

この設問の一番最後の「すべきだと思いますか」は表現を修正する予定にしています。実際に虐待に繋がっていないケースでもしつけということで、少々の基準に照らせば虐待と思える部分の行為であっても許されるのではないかというような意識を、どの程度の方がお持ちかということの設問になっております。

●意見（田中部会長）

あと、体罰や虐待という言葉を出すことに疑問があり、体罰・虐待と書いてある時点でしてはけないのですが、でもその方たちはしつけだと思っていると場合もあり、もう少し直接的な表現を避ける方が本来の現状を捉えやすいのではと思いました。

●回答（子育て支援課 小田課長）

検討させていただきます。

●司会（田中部会長）

その他、委員の先生方からもご意見等ありますでしょうか？

●意見（大田委員）

土日の託児の利用希望について、土曜日・日曜日とも「年に1～2回」の選択肢を加えてはどうですか。

●回答（子育て支援課 小田課長）

選択肢の追加について検討させていただきます。

●質問（神吉委員）

同じく5ページの休日などの利用希望について、日曜・祝日はやってないという園もあれば、土・日・祝日全部している園もあり、毎週のように預けてる方もあるので、毎週利用していますという選択肢があってもいいのでは。

●回答（子育て支援課 小田課長）

問12に関しては、現在使われていない方への設問になっています。

●意見（神吉委員）

6ページの間14-4ですが、ここにも「祖父母等の親族が対応した」という選択肢があってもいいのでは。

●回答（子育て支援課 小田課長）

検討させていただきます。

●質問（神吉委員）

9ページの間20で、「施設や設備をもっと充実させてほしい」と思うお母さんもいらっしゃるので選択肢にあればいいと思います。

●回答（子育て支援課 小田課長）

子ども・子育て支援事業計画にどういう形で反映されるかという意味で設問がどう置けるか検討させてください。

●質問（神吉委員）

毎回聞いていますが、10ページの放課後子ども教室について、ずっと未実施で聞く意味はありますか。これで利用したい人が多い場合、果たしてこれは実施できるのか疑問があります。

●回答（子育て支援課 小田課長）

その点については、教育委員会が担当している
こともあり、設問の仕方自体も含め相談をさせていただきます。

●補足説明（健康福祉部 井上部長）

国が5年前、放課後子ども教室とアフターと一体化する方向ですすめていましたが、今回これをもう1回聞くかはよく考えないといけないと思っています。子育ての環境も変わり、実際するとなると支え手の確保の問題が一番に難しいのが実情です。

一方で、今子ども食堂を地域ですていただけています。地域で子育てという部分で放課後子ども教室ではないですが、子ども食堂が広がっていくこともいいことかと思っています。

●質問（神吉委員）

国が推進していると書いてあるので、この地域の実情を国がどれぐらい知っているか意見を逆にフィードバックする機会はあるのですか。

●回答（子育て支援課 小田課長）

この子ども子育て支援事業計画は、国の交付金の対象になり事業の内容について調査などもあります。そういった中で意見として出すことは可能かと思えます。

●司会（田中部会長）

ありがとうございます。その他、ご意見などありますでしょうか？

●質問（岩崎委員）

4ページの間10、国からの新規設問のところは必ず入れないといけない内容でしょうか。国から教育機能のニーズの把握ということですが、認定こども園も教育機能はきちんと備えており、幼稚園部のお子さんも通われているので、あえて聞く必要はあるのか1つ目の疑問でした。

あと、子ども食堂のことが出たので、どこかで「子ども食堂を利用したことがある」等の設問も次の参考になるのでは。

もう1点「病児・病後児保育の登録をしていますか」を最初に置いた上で、利用したことがあるか、結局利用せずに済んだというような内容に繋がったらいいのではないのでしょうか。

あと、9ページにファミサポについて、1番と3番の※印のところには、注意書きに利用者負担が発生しますってということが書いてありますがファミサポについても利用者負担があります。

●司会（田中部会長）

問10-1の必要性について事務局から何かありますか。

●回答（子育て支援課 小田課長）

国から聞かれているとはいえ、市として必要かどうか教育・保育課にも確認しながら検討させていただきます。

●質問（大田委員）

市内の幼稚園が閉園する時に、保護者の幼稚園を残してほしい署名を保護者の方が出してましたね。

●回答（子育て支援課 小田課長）

多分、全国的に幼保の一体化の流れの中で、幼稚園に関してやはり残してほしいという意見はいろんなところである。そういったことを踏まえて国が知りたいと思うのですが、三木市としてこれをどうするか検討させていただきます。

●司会（田中部会長）

先ほどの署名の話をお聞きして、何か教育ニーズ以外での要因みたいなことも、もしかしたら出てくるのかなと、その意図が伝わるような形で考えていただけたらと思います。子ども食堂や病児・病後児保育の質問項目についてはご検討いただけたらと思います。よろしく願いいたします。その他ご意見いかがでしょうか？

●質問（坂本委員）

小学生の保護者の方のアンケートにも関わるかもしれないのですが、障がいのあるお子さんも全く同じアンケートに答えていらっしゃるのか、三木市の地域福祉計画の中に障害児福祉計画があるので、重度の障害があるお子さんに関しては、また別のアンケートがあるのですか。

●回答（子育て支援課 井上部長）

三木市の障害児福祉計画というのがあります。

障がいのある方へどういサービスが必要なのかということについては、その方に対して直接的にしています。ですので、障がいの部分に関して特にこの子ども・子育て支援事業計画では入っていないということをご理解をいただけたらと思います。

●意見（田中部会長）

その障がいのことで特に医療的ケアのあるお子さんについてです。かなり重度の場合や実際通って分離ができない場合など、問9-4、利用していない理由の選択肢に加えてはどうでしょうか。

そういった視点での質問項目等があればと思いました。多分ここに書かれていないということに対して、何かしら思いを持つお母さん方もおられるのではないかなと思ったので、ご意見させていただきました。

●回答（子育て支援課 小田課長）

検討させていただきます。

●司会（田中部会長）

続いて、資料2の小学生児童の保護者向けアンケートについて、ご意見ご質問があればお聞かせいただければと思います。

●意見（神吉委員）

4ページの間9-3、「アフタースクールを利用していないを選ばれた方におうかがいします」の選択肢について、利用したいが入れないという方もいると思うので、そういう選択肢があってもいいのでは。

●回答（子育て支援課 小田課長）

入りたいところに入れられない方ということですね。これも教育・保育課と調整し検討させていただきます。

●意見（大森委員）

9ページの間23の選択肢8「子どもの登校拒否などの問題」っていうところで、今、本当に学校に行かない子がたくさん私の周りにもいます。「子育てしていてつらく当たってしまう」と回答される方も多いと思います。保護者は詳しく聞いてほしいのではないかなと思いました。

●回答（子育て支援課 小田課長）

登校拒否の原因や、登校拒否に関して何が一番悩んでいるかとかそういうことですね。

●意見（大森委員）

このようなアンケートだと言いやすいかなと思いました。

●回答（子育て支援課 小田課長）

他の項目も含めご意見として参考にさせていただきます。

●質問（大田委員）

8ページの「学校の運営に関して何を望まれますか」について、やはり学力の向上かと思うのですが。

●回答（子育て支援課 小田課長）

学力の向上については問21にありますように、もちろん重点項目として取り組んでいますが、さらにより一層のというようなイメージでしょうかね。

●意見（大田委員）

はい。皆さんまず、成績を上げたいっていう考えもあるのかなと思いました。

●回答（健康福祉部 井上部長）

三木市では、近年学力については十分上げたいと思いで、いろんな形で取り組んでいます。その中で、特にどういう部分を上げてほしいかというのが問21の質問です。

学力以外で学校に望むことという意味で問22は区分けをしていると思います。

●司会（田中部会長）

ありがとうございます。説明の追加があってもいいのかなと思います。

●回答（子育て支援課 小田課長）

分かりにくいところがあると思うので、何か注釈を考えさせていただきたいと思います。

●質問（坂本委員）

1ページの「子どもの育ちをめぐる環境について」というコンテンツがあって、「預けられる親族・知人がいますか」とか、「子育てに関して気軽に相談できる先はありますか

か」とこの2つを聞くのに、「子どもの育ちをめぐる環境」はすごく大きすぎて、もう少し題名の付け方とか聞き方はないのでしょうか。

●回答（子育て支援課 小田課長）

「日常的な子どもの見守り環境」とか、そういうことですね。

●質問（坂本委員）

はい。あと、ファミリーサポートセンターと一時預かりのショートステイについては、認知度をまず聞いてはどうでしょうか。どれぐらい市の事業に対する理解されているのか環境を考えていく上で大事なことかなと思うので、何かそこは入れていただけるといいのかなと思います。

●回答（子育て支援課 小田課長）

全体的な設問の言い回しとか言葉の使い方は、もう一度チェックはさせていただきたいと思います。認知度については、設問として入れ込めるかどうか検討させていただきたいと思います。

5 その他

●回答（子育て支援課 藤田係長）

皆さん、いろんな意見をいただきましてありがとうございます。なかなか鋭い視点でいただいた内容等もあり参考にさせていただきます。

また、よりよい子育て支援をしていくために市民のニーズ、個人の意見ではなく、それぞれの立場からこういうことをよく耳にしますとかいう複数の意見で、お母さんたちとかお父さんたちが望んでいるようなことがあれば、お聞かせいただければと思います。

●司会（田中部会長）

それは日々の中でというふうな意味合いで大丈夫ですか。

それでは皆さん、ニーズや意見を挙げていただけたらと思いますがいかがでしょうか？

●意見（大田委員）

求職中でも、現在就労証明書がもらえなくても子ども園に入れるようになればいいという話を聞きました。

●回答（子育て支援課 小田課長）

教育・保育課の方に伝えておきます。

●回答（岩崎委員）

認定こども園は機能の一部として、幼稚園部のお子さまの時間の範囲内で働いておられる方もいらっしゃるし、そこから就労が決まったら認定変更っていう形で受け付けもできます。そういうことも含めて教育・保育課が確認して判断されています。

●回答（子育て支援課 小田課長）

個別具体的なケースの話は、お答えするとしたら制度の話しかしよわなくなるので、通園制度自体が変わろうとしているところでもあるので、意見としていただいているという事は、当然教育・保育課の方にも伝えておきます。

●質問（坂本委員）

日曜日と祝日の預かりをやっている園はありますか。

●回答（健康福祉部 井上部長）

あけぼの認定こども園が実施していますが、休日保育は臨時的にやっているのではなく、もともとその園に就園していただいている事にはなりません。

●司会（田中部会長）

それでは、その他、ご意見など大丈夫でしょうか。

それでは以上をもちまして、本日の議事等が終了いたしましたので、進行を事務局の方へお返しいたします。お願いいたします。

●あいさつ（子育て支援課 小田課長）

本日の部会につきましてはこれで終了でございます。いただきました意見につきましては関係課と協議の上で項目を作成させていただきたいと思っております。全てのご意見がそのままということはお約束できませんが、検討させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

6 閉会